

平成28年度 市有施設のエネルギー使用量

(1) 市有施設のエネルギー使用量の集計

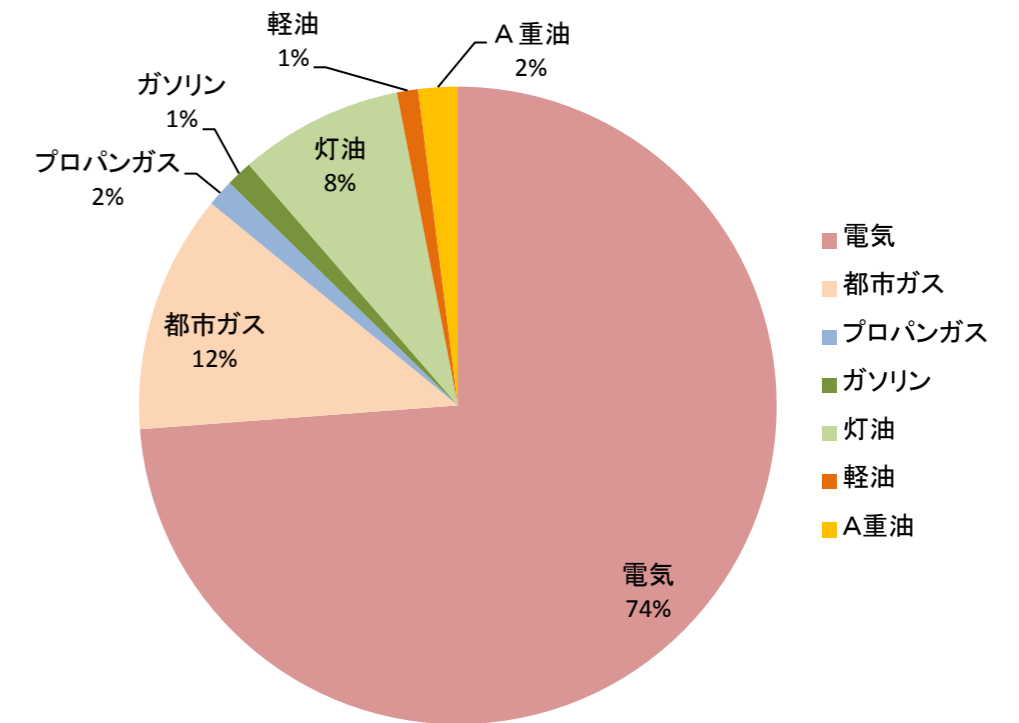
市有施設(庁舎、学校、指定管理者制度導入施設など:1,292施設)における電気、ガス、灯油等と、庁用車(581台)のガソリン、軽油等を集計した。

(2) 市有施設のエネルギー使用量の状況

種類別のエネルギー使用量は、原油換算すると以下のとおり。

種類別	平成28年度 報告使用量	平成28年度 原油換算量(kℓ)	平成27年度 原油換算量(kℓ)	対前年度比(kℓ) " (％)	全体に占める 割合(％)	主な増減の理由
電気	82,277 MWh	21,164	21,409	△ 245 (△1.1%)	74%	新庁舎・芸術館の通年稼働による増 下水道汚泥を県(アクアパル)での処理に移 行したことによる減
都市ガス	3,124,754 m <sup>3</sup>	3,475	3,778	△ 303 (△8.0%)	12%	保健保養訓練センター等の設備を高効率設 備に入れ替えたことによる減
プロパンガス	149,240 m <sup>3</sup>	390	408	△ 18 (△4.4%)	1%	「鬼無里の湯」の休館による減
ガソリン	430 Kℓ	384	378	6 (+1.6%)	1%	きらめき隊、地域おこし協力隊の車両使用による 増
灯油	2,515 Kℓ	2,382	2,505	△ 123 (△4.9%)	8%	「鬼無里の湯」の休館による減
軽油	315 Kℓ	307	287	20 (+6.9%)	1%	下水道汚泥を県(アクアパル)での処理移行に伴 い、汚泥運搬を開始したことによる増
A重油	567 Kℓ	572	777	△ 205 (△26.4%)	2%	下水道汚泥を県(アクアパル)での処理に移 行したことによる減
合計		28,674	29,542	△ 868 (△2.9%)	100%	

平成28年度 市有施設の  
エネルギー種類別構成比(原油換算)



※長野市民病院は、地方独立行政法人化移行に伴い、エネルギー使用量の集計には含まない。  
平成27年度原油換算量(kℓ)は、比較のため長野市民病院の使用量を除いた値とした。

(3) 市有施設のエネルギー使用量(原油換算)の推移

平成28年度までの市有施設のエネルギー使用量(原油換算値)の推移は以下のとおり。

年度	使用量 (長野市民病院を含む)	使用量 (長野市民病院を含まない)
H24	34,113 Kℓ	30,223 Kℓ
H25	33,867 Kℓ	30,022 Kℓ
H26	32,933 Kℓ	29,171 Kℓ
H27	33,270 Kℓ	29,542 Kℓ
H28	— Kℓ	28,674 Kℓ

(kℓ) 市有施設のエネルギー使用量(原油換算)の推移

